

記憶の影を照らす追憶の光

文学座公演

カラス

作 テネシー・ウィリアムズ

訳 小田島恒志

演出 高橋正徳

出演 塩田朋子

亀田佳明

永宝千晶

池田倫太郎

2019年 7月11日(木) 開場 18時00分 開演 18時30分

長岡リリックホール・シアター

動物園

激しくも優しく、儂くも眩しく

全席指定 3,000円 *未就学児のご入場はご遠慮ください

チケット一般発売
5月10日(金)

リック友の会優先予約
5月9日(木)
10時~18時

※電話予約のみ
長岡リリックホール:0258-29-7715
長岡市立劇場:0258-33-2211

プレイガイド

長岡リリックホール
長岡市立劇場
文信堂書店
(長岡駅ビル CoCoLo内)



主催/お問い合わせ
(公財)長岡市芸術文化振興財団
事業課(長岡リリックホール内) tel 0258-29-7715



塩田朋子

亀田佳明

永宝千晶

池田倫太郎

[あらすじ]

父親が家を出て以来、母子家庭として暮らしてきたウイングフィールド家の物語。かつては上流社会にいたという記憶から逃れられない母アマンド。不自由な足を気にして現実から引きこもり、ガラス細工の動物たちにだけ心を許す姉ローラ。現実と乖離した母と姉を捨て去れず、一家を支えるためこの町で働くトム。そんな出口の見えない生活がジムという青年の来訪により変化していく。それはこの家族にとって希望の光に見えた。しかしガラス細工の動物たちが永遠の存在でないことを証明する光でもあった。トムが追憶の調べを奏でるとき、二度とは戻れない過去へと導いてゆく。

テネシー・ウィリアムズの代表作である本作を、文学座では1990年アトリエの会以来29年ぶりに上演。小田島恒志の新訳、高橋正徳の新演出による新たな創造が始まる!

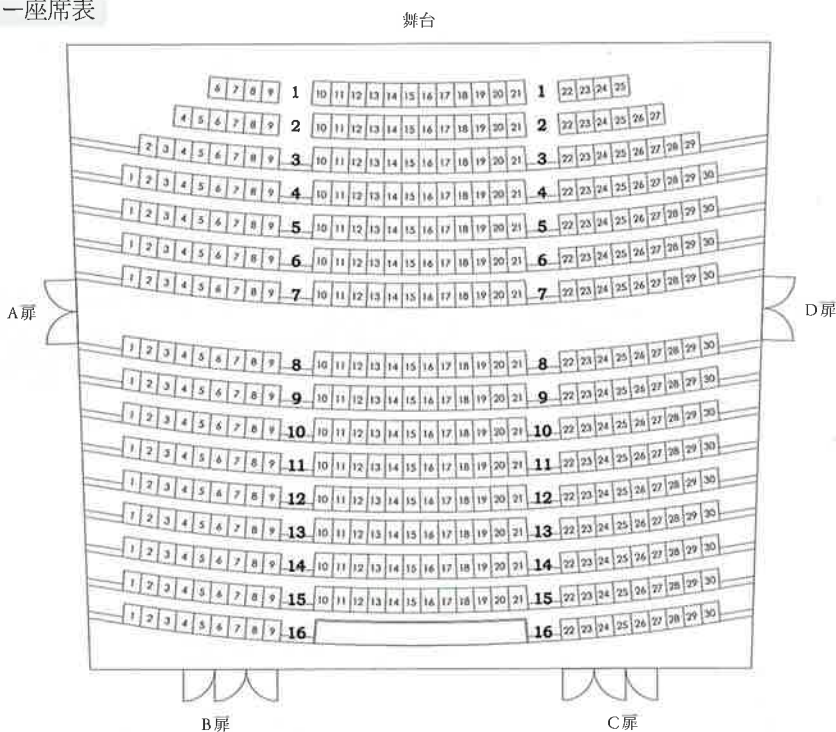
お知らせ

- ・長岡リリックホール及び長岡市立劇場では、チケットの窓口販売のほか、郵送(有料)によるチケット販売も承ります。
- ・6ヶ月以上から小学校入学前のお子様を対象とした託児室(無料)を設置します。7月4日(木)までに(公財)長岡市芸術文化振興財団事業課へお申し込みください。なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。
- ・公演終了後、長岡駅直通の有料臨時バスが出ますのでご利用ください。

以下のことをご了承のうえ、チケットをお買い求めください。

- ・小学校入学前のお子様はご入場いただけません。小学生以上の方はチケットが必要です。
- ・ご予約・ご購入いただいたチケットのキャンセル・変更はできません。
- ・車椅子席をご希望の方は、長岡リリックホールでお求めください。

シアター座席表



長岡リリックホールへの交通のご案内

[バス]

JR長岡駅大手口

- ・8番線から「中央循環バス」で、
(内回り/県立近代美術館、外回り/ハイブ長岡)バス停下車徒歩3分
- ・2番線から「日赤病院経由」江陽団地行きバスで
(ハイブ長岡)バス停下車徒歩3分
- ・2番線から「江陽環状線バス」で、
(大手大橋先回り/ハイブ長岡)バス停下車徒歩3分
- ・2番線から「日赤病院経由」出雲崎行きバスで、
(県立近代美術館)バス停下車徒歩3分

[自家用車]

関越・北陸自動車道「長岡インターチェンジ」から車で約10分



長岡リリックホール

〒940-2108 新潟県長岡市千秋3丁目1356番地6
tel 0258-29-7715

ガラスの動物園

文学座公演

作——テネシー・ウィリアムズ

訳——小田島恒志

演出——高橋正徳

美術——乗峯雅寛
照明——阪口美和
音響——原島正治
衣裳——宮本宣子
舞台監督——寺田修
演出補——小原まどか
制作——白田聡、最首志麻子
宣伝デザイン——三木俊(文京圖案室)
宣伝写真——中山晃子